

## 教材・支援機器活用実践事例

【SSTカードでのやりとりを通して、

自分の思いや考えを、言葉で表現する力を高める実践】

子どもについて	学校・学年・学級	高等学校 1～3年
	対象の障がい	支援が必要な生徒
	授業形態	小集団学習（保健室や相談室）
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コミュニケーションがうまくとれず、言葉で表現することが苦手である。</li> <li>○ 教室に入ることができなかつたり、友達や教師とやりとりすることが難しかったりする。</li> </ul>
教材・支援機器活用	使用した支援機器・教材の名称	<p>「手作りSSTカード」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ カードをめくって、カードの質問内容に、自分なりの考えを答えていく。</li> </ul>
	活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒が、教師と友達とカードを通してやりとりすることができる。</li> <li>○ 生徒が、教師や友達の意見を通して自分の考えを深めることができる。</li> </ul>
授業における支援・教材の配慮事項		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保健室や相談室に来た生徒に対して、話しやすい雰囲気作りを心がける。</li> <li>○ SSTカードは、「友達とのやりとりに関して、～のときはどうする?」「生活の場面で～のとき、どんな言葉をかけますか?」など、状況に応じてどのように考えて行動するかなどの内容で構成している。</li> <li>○ カードを使用することで、直接やりとりする緊張感を和らげ、話しやすい雰囲気を作る。</li> <li>○ カードを引いて、選んだカードをもとに、自分の考えを、短い言葉でもいいので、何でもいいので答えるように働きかける。</li> </ul>
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保健室や相談室に来た生徒が、カードを通しての人とのやりとりで笑顔になり、自分の考えを自分で表現できるようになってきた。</li> <li>○ 4～5人で取り組む中、教師や友達の意見や考えを聞くことで、生徒自身の考え方や表現の仕方が深まり、自分の言葉で伝えようとするが増えてきた。</li> </ul>

